

一般会計単年度「純」決算は
14億9千万円で8年連続の黒字

9月議会にて、令和2年度決算が認定承認されましたので、市民の皆様にもその一部をご報告致します。

一般会計の決算額は、歳入413億9千万円余で前年度対比95億5千万円余(30.0%)の大幅な増、歳出385億4千万円で前年度対比92億4千万円余(31.5%)の大幅な増となり、差引28億5千万円余の黒字となりました。そして、実質単年度決算額(前年度からの繰り越し及び財政調整基金への積み立て・取り崩しを除外した決算収支)は、11億8千万円の黒字でした。

さらに、市債の増減を加味した単年度「純」決算は14億9千万円で、8年連続の黒字となりました。

なお、地方債残高は91億1千万円余で、前年度対比2億7千万円余(2.9%)の減となりました。また、この10年間では、5億500万円減りました。また、使用目的を限定していない貯金である財政調整基金の令和2年度末の残高は、約60億7千万円であり、前年度対比約8億6千万円の増となりました。さらに、財政調整基金も含めた各種基金(貯金)は、2年度末現在、合計約86億

6千万円となっております。

2年度に行った特徴ある事業は、ふるさと応援寄附金事業14億2千万円、小中学校GIGAスクール構想推進事業1億6700万円、碧南駅前線整備事業1億6200万円、北部工業地整備事業8400万円、碧南用水改修事業6400万円、名鉄碧南駅西駅前広場整備事業4600万円、高齢者入浴サービス事業2700万円、新築住宅建設等促進補助事業2200万円、碧南緑地ビーチコートスポーツ推進事業600万円、碧南スケートボードパーク整備事業200万円でした。市民病院会計は、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けましたが、国・県の補助金を受ける中で元年度より2億5千万円改善し、7億7千万円の純損失となりました。市民の皆様、市民病院を今後ともみんなで盛り上げてまいりましょう。



令和2年度 衣浦衛生組合一一般会計決算報告

問 衣浦衛生組合 ☎41-3479

衣浦衛生組合は、碧南市と高浜市で構成されている一部事務組合です。当組合の事業と決算状況の概要をお知らせします。

組合の主な事業

- **し尿の処理 (衛生センター)**
各家庭から収集された生し尿、浄化槽汚泥の処理
- **ごみの処理 (クリーンセンター衣浦)**
各家庭から収集された、可燃ごみ・粗大ごみの処理及び一般廃棄物の処理
- **ごみの再生処理 (リサイクルプラザ)**
再利用できると判断された粗大ごみや家庭にある不用品でまだ使える物の展示・販売
- **温水プールと浴場の運営 (サン・ビレッジ衣浦)**
クリーンセンターのごみ焼却余熱を利用した温水プール、風呂施設の運営
- **火葬場の運営 (衣浦斎園)**

